

1. 教育問題について

(ア) スポーツクラブの発展による、中学校の対応

お許しをいただきまして、一般質問をさせていただきます。今回の私の質問はインターネットを通して私に寄せられた市民の声も入れさせていただきます。市民の代弁者として質問をしますので、市長ならびに教育長の明快な答弁を期待いたします。

まず初めに、スポーツクラブの発展による中学校の対応についてお尋ねいたします。わが国では、これまでの経済中心型の社会から成熟した市民社会への変換を図るため、従来からの行政主導型のシステムを見直す動きが活発になってきています。スポーツにおいても例外ではありません。学校、スポーツ団体、企業、行政に多くを依存してきたシステムを住民一人一人がスポーツ文化をそれぞれの地域社会の中でどのように育て、日常生活の中に定着させていくかを支援するシステムに転換していくことが求められています。このような背景の中で文部科学省は平成12年9月、スポーツ振興基本計画を策定し、生涯スポーツに関する政策目標として、平成22年までの10年間で各市町村において少なくとも一つは総合型スポーツクラブを育成することとしています。そのような時代背景の中で、本市においても地域スポーツクラブを設立する地域がでてきました。地域クラブの構成メンバーは地域のすべての住民であり、小学生から高齢者までを包含しています。したがって、現在、小学生はスポーツ少年団、(少年団は地域スポーツクラブです。)中学生は部活で問う形態ではなく、中学生も地域スポーツクラブで活動することになるわけであり、学校の部活の場合、すべての種目で専門的な知識を持った教員が指導しているわけではなく、部活の管理的な役割を果たしているだけのことも多いと思われます。また、指導者不足で廃部に陥るケースもあるようです。そんな中で、保護者としては地域の専門的な知識を持った指導者が指導してくれる、地域スポーツクラブに参加させたいと考えるようになります。しかし、その前に立ちはだかるのが受験の問題です。高校の受験は子どもにとってもその親にとっても人生の大きなハードルであり、それに向かって日々努力しているのであります。そこでお尋ねいたします。高校受験の再の試験のシステムはペーパーテスト、内申書、面接の総合点だと思えます。配点は各学校によって異なるかもしれませんが、高松一高の場合、どうなっているのでしょうか。

また、内申書の得点の中で地域活動やスポーツの成績などの評価点の占める割合はどれくらいかお答えください。次に推薦入学についてお尋ねいたします。スポーツの技能が他のものより優れ、スポーツ推薦を受けたい場合、学校に申し入れ推薦してもらうことになると思いますが、各中学校での推薦の基準はどうなっているのでしょうかお答えください。また、高校の方が欲しがっていても中学校の先生が推薦してくれないという話も聞きます。理由を聞いてみると市や県の大会での成績が良くないからということのようで、団体競技の場合、個人の技能が優れていても成績が残せない場合があり、臨機応変な対応が必要と考えますがいかがでしょうか。また、学校での部活と地域スポーツクラブでの活動と学校の先生の評価が違うのではないかとすることも心配しています。評価基準が違うかどうか評価方法はどうかお答えください。また、地域のスポーツクラブが人材を取ると学校の部活が人材不足になり、部活担当の先生が地域スポーツクラブ発展の抵抗勢力になっているとの指摘も有りますが、教育長のご所見をお聞かせください。

(イ)

次に、新子どもプランについてお尋ねいたします。文部科学省では平成14年度からの完全学校週5日制の実施にあたり、地域で子どもを育てる環境を充実させ、放課後や週末等の様々な子どもたちの体験活動を推進するための各種事業を実施する、新子どもプランを策定しています。プランの内容は「地域における体験活動等の体制整備・情報提供」、「子どもを核とした地域の様々な活動の機会と場の拡大」、「子どもや親の悩みにいつでも応える相談体制の整備、家庭教育への支援等」となっています。このプランには多くの事業が提示され予算化されているようです。そこでお尋ねいたします。新子どもプランを利用した本市における具体的取組について実施している事業と今後実施する予定の事業についてお聞かせいただきたいと思います。また実施できない事業はどのような事業か理由をお聞かせください。

2. 高松空港の航空路確保について

(ア)

次に高松空港における航空路の確保についてお尋ねいたします。高松空港は、平成元年12月に大型ジェット機が就航可能な空港として開港以来、新規路線が順次開設され、平成10年頃は仙台、東京、福岡、鹿児島、那覇の国内主要5都市を結ぶ定期路線のほか、国内11路線が開設されていました。また、平成4年には韓国のソウルとの間に四国で初め

ての国際定期路線が開設されるなど、四国の拠点空港として期待が高まっていた。ところがその後、相次ぐ路線の廃止が進んだことはご承知の通りです。最近では札幌、名古屋、関西が相次いで運休しているのが現状です。搭乗率が低いからと片付けてしまえばそれまでですが、私は利用促進の努力も足りないと思います。このままでは高松空港の衰退は益々進み、市民は不便を強いられることになると思います。瀬戸大橋の料金引き下げの論議がありますが、瀬戸大橋の料金が下がれば岡山空港に乗客は吸収されることになるような気がします。現在岡山空港は上海、ソウル、グアムの定期路線のほか札幌便を含む国内6路線が運行され、駐車場は使用料が無料の上、海外旅行で利用する場合、ハイウェイカードのプレゼントもあるようです。また、全国の名産品をプレゼントする「飛んで岡山！！ひとつわたしにくださいなキャンペーン」など多くの利用促進に向けたキャンペーンも積極的に展開しています。瀬戸大橋の料金が下がったときに逆に岡山から高松に利用客を呼び込む準備が私は必要と考えます。そこでお尋ねいたします。高松空港の駐車料金を岡山空港と同じ無料にするよう県、国に働きかける必要があると思いますが市長の意気込みをお聞きしたいと思います。また、今後、路線の復活、新規路線の開拓について市長はどのようにお考えでしょうか。岡山空港との競争に打ち勝つにはどうしたらよいと思いますかお答えください。

3. 本市施設利用について

(ア)

次に本市体育施設使用についてお尋ねいたします。健康で文化的な生活を続けるためには、継続的で適度な運動が必要とされています。単発的な大会だけに参加しているのでは運動の効果は見出すことが出来ません。私は本市の体育施設利用料の設定に定期利用者への配慮が足りないと思います。特に総合体育館や福岡町プールは340円の駐車場使用料が必要です。現在1時間は利用証明を取ることで無料になっていますが、同施設を訪れる定期利用者のほとんどは1時間で帰る人はいないと思います。駐車場使用料を無料にするには運動時間は40分までそれでもバタバタ大急ぎで帰らなくてはなりません。本庁を訪れるのと体育館やプールを利用するのはおのずと目的が異なります。にもかかわらず1時間は無料と設定していることはいかにもスポーツをしない人の発想だと思います。また、プールの使用料は県の温水プールは520円、本市は560円ですが、県には継続利用の料金設定があり一回当たり3

12円のされていて継続利用者への便宜が図られています。そこで提案ですが、継続利用者には駐車場利用料込みで県立屋内温水プール並みの料金設定をしてほしいと思います。そこでお尋ねいたしますが、総合体育館及び福岡町プールの無料利用時間を2時間に延長する考えと、プール及び体育館の継続利用者向け個人料金を設定することについて市長のご所見をお聞かせください。また、実施できない場合はその理由をお示しください。

4. 高松市圏域における総合交通システムについて

(ア)

次に新駅の開設についてお尋ねいたします。本年3月に策定した高松市総合とし総合計画によりますとJR予讃線の香西、高松間3.7キロメートルの中間で、人口密集地帯である郷東橋東詰めの新北町付近に新駅建設構想が提示されています。新北町、茜町、西町付近は市内有数の人口密集地域であり新駅が建設されれば住民の利便性は大幅に向上すると思います。今後の新駅開設に向けた課題と見通しと合わせ市長のご所見をお聞かせください。

(イ)

次に木太鬼無線についてお尋ねいたします。この質問はわが同志会の天雲議員も先の議会で質問していますが、再度質問させていただきます。都市計画道路木太鬼無戦は平成11年度から用地買収が進み平成20年度の開通に向け事業が進んでいます。高松市の西部地区においては御殿山トンネルは希望のトンネル、夢のトンネルであります。しかし、仄聞するところによりますと浜街道の拡張に多大な予算を必要とし、木太鬼無線の開通が遅れるとの情報があります。高松市西部地区は市内まで至近距離にありながら道路整備は東部や中央部に比べると遅れており、木太鬼無線は予定年度には必ず開通させていただきたいと思っております。そこでお尋ねいたしますが、木太鬼無線の香東川右岸から県道・川東高松線までの道路整備の進捗状況と見通しについてお答えください。

(ウ) 郷東町交差点から本津川までの県道33号高松丸亀線の拡張

次に県道33号高松丸亀線についてお尋ねいたします。県道33号高松丸亀線は郷東橋西側のJR弧線橋付近で坂出方面、香西、下笠居方面からの車両の合流地点になっております。しかし、この付近から車線が2車線になっているため通勤時は交通渋滞がひどく、市内でも主要渋滞ポイントになっています。弧線橋付近から勝賀中学校南側の交差点までの道路拡幅が私は必要と考えています。道路の拡幅について県に強く働き

かけていただきたいと思います。この地点の渋滞の状況をどのように捉えているのか、また拡幅工事に向けた市長のご所見をお聞かせください。

(工) 歩道、自転車道の補修、整備について

次に歩道、自転車道の補修、整備についてお尋ねします。自動車の保有率に向上に伴い、公共交通機関への依存度の低下が顕著になっています。これが交通渋滞、違法駐車、駐車場不足の要因になっています。市内4箇所で行われているレンタサイクルも順調なようで

(オ)

次に狭あい道路の整備についてお尋ねいたします。